

令和5年度 体験活動普及啓発事業 「おおすみくん家 通学合宿」

- 1 趣 旨 集団宿泊生活や生活体験活動を行いながら学校生活を送ることを通して、望ましい生活習慣や学習習慣を身につける。また、読書活動を通して豊かな情操を養う。
- 2 主 催 国立大隅青少年自然の家
- 3 期 間 令和6年1月11日(木)～ 2月15日(木) 計6週(全10回)
(各学校で2泊3日の実施期間を指定)
- 4 対 象 者 鹿屋市・垂水市内の小学4～6年生(学校までの所要時間約30分圏内の小学校)
- 5 募集定員 各回30人程度(全10回 申込み261名 238名参加)
- 6 講 師 絵本専門士 西元 道子 氏(鹿児島第一幼稚園 園長代理)
絵本専門士 森 ゆかり 氏
- 7 日 程



	初日	2日目	最終日
		6:00 起床・身支度・清掃 6:45 朝食 7:30 <u>自然の家バスで登校</u> 8:00	6:00 起床・身支度・清掃 6:45 朝食 7:30 <u>自然の家バスで登校</u> 8:00
	<u>保護者により</u> <u>自然の家まで送る</u>	(学校生活)	(学校生活)
17:00	受付		
17:15	出会いのつどい		
18:00	オリエンテーション	16:15 <u>自然の家バスで下校</u> ※学校の校時表通り	放課後 学校から そのまま帰宅
18:30	夕食		
19:00	宿泊室入室	17:00 学習 18:00 夕食 19:00 入浴	
19:15	入浴		
20:00	学習・レクリエーション	20:00 絵本専門士による 読み聞かせ	
21:30	翌日の準備	21:30 翌日の準備	
22:00	就寝	22:00 就寝	

- 8 事業運営上の配慮
 - コロナ禍で奪われた体験の機会を提供できるよう応募者全員を受け入れた。
 - 初日のオリエンテーションで、本事業の趣旨を参加児童全員に説明し、基本的な生活習慣の定着に向けて「おおすみくん家通学合宿7つの約束」の意識化を図った。
 - 健康チェックシートを各班に配布し、就寝前・起床後に班員の健康状況の把握に努めた。
- 9 参加者の感想
 - スマホやテレビのない環境で夜更かしすることなく、規則正しい生活ができた。
 - いつも家では自分でしないことをしたので、あらためてお母さんやお父さんに「ありがとう」という気持ちが持てた。ルールを守ることがはととても大切ということを知った。
 - この年になって、絵本を読む機会がほとんどなかったの、とても新鮮だった。小学生が絵本を読んでもとても楽しいものだと分かった。
- 10 成 果
 - 鹿屋市教育委員会との連携により、「中1ギャップ」解消のため参加対象校を3校増やして実施した。
 - 鹿児島県内に在籍する「絵本専門士」のスキル発揮の場や機会を提供することができた。
 - <事後アンケート結果の自由記述より>
 - 参加児童自身が自分の日常生活をふりかえり、親の有難みを感じることができたのと同時に、自立に向けて自分にできることが何かを考えてもらう契機になった。
 - 参加児童が絵本に触れる機会を通して、本を読む楽しさや面白さを感じてもらうことができた。